環境経営レポート

取組期間　：　2022年11月1日～2023年10月31日

発 行 日　：　2024年1月31日

エコアクション21
認証番号 0009765

NK CONSTRUCTION co.,ltd

エヌケー建設株式会社

【目次】

１．対象組織の概要 2

２．環境経営方針 3

３．実施体制 4

４．環境経営目標 5

５．環境経営計画 6

６．環境経営目標の実績 7

７．環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組内容 8

８．次年度の環境経営計画 10

９．環境関連法規等の遵守状況の確認 11

１０．代表者による全体評価と見直し・指示 12

【1.取組の対象組織・活動の明確化】

取組の対象組織・活動

□組織の概要

（1）名称及び代表者　　エヌケー建設株式会社
代表取締役社長　浜　圭司

（2）所在地　　本社　香川県高松市木太町5098番地4
資材倉庫　香川県高松市木太町5039番地6

（3）環境管理責任者連絡先　　E-mail　info@nkk-cm.com
TEL　(087)868-1777
FAX　(087)868-1700
HP　http://nkk-cm.com/

（4）事業内容　　建築工事業　香川県知事許可（特—3）第1102号
土木工事業　香川県知事許可（般—3）第1102号
宅地建物取引業　香川県知事免許（11）第2494号

（5）事業の規模　　創立　1970年11月6日
資本金　3,200万円
売上高　1,557百万円（R4.11～R5.10）
工事等の件数（契約件数）　340件

	本社	資材倉庫
従業員	31人	無人
延べ床面積	500．23㎡	504．4㎡

（6）事業年度　　事業年度　11月～10月

□認証・登録の対象範囲（全組織・全対象）

登録事業所　　本社
資材倉庫

事業活動　　建築工事業
土木工事業
不動産業

エヌケー建設株式会社

環境経営方針

基本理念

快適な空間づくりと時代の一歩先を行く経営姿勢で、地域社会の環境保全に貢献する。

行動指針

１．事業所の二酸化炭素排出量を削減します。

２．廃棄物削減の為に、適切な分別に力を入れて自然環境への負荷を軽減します。

３．節水を心がけ、水使用量を削減します。

４．現場美化についてより厳しく、年１回清掃活動に取り組み、
５月には大池周辺の草刈を行います。

５．お客様に対し、省エネ住宅の提案を行います。

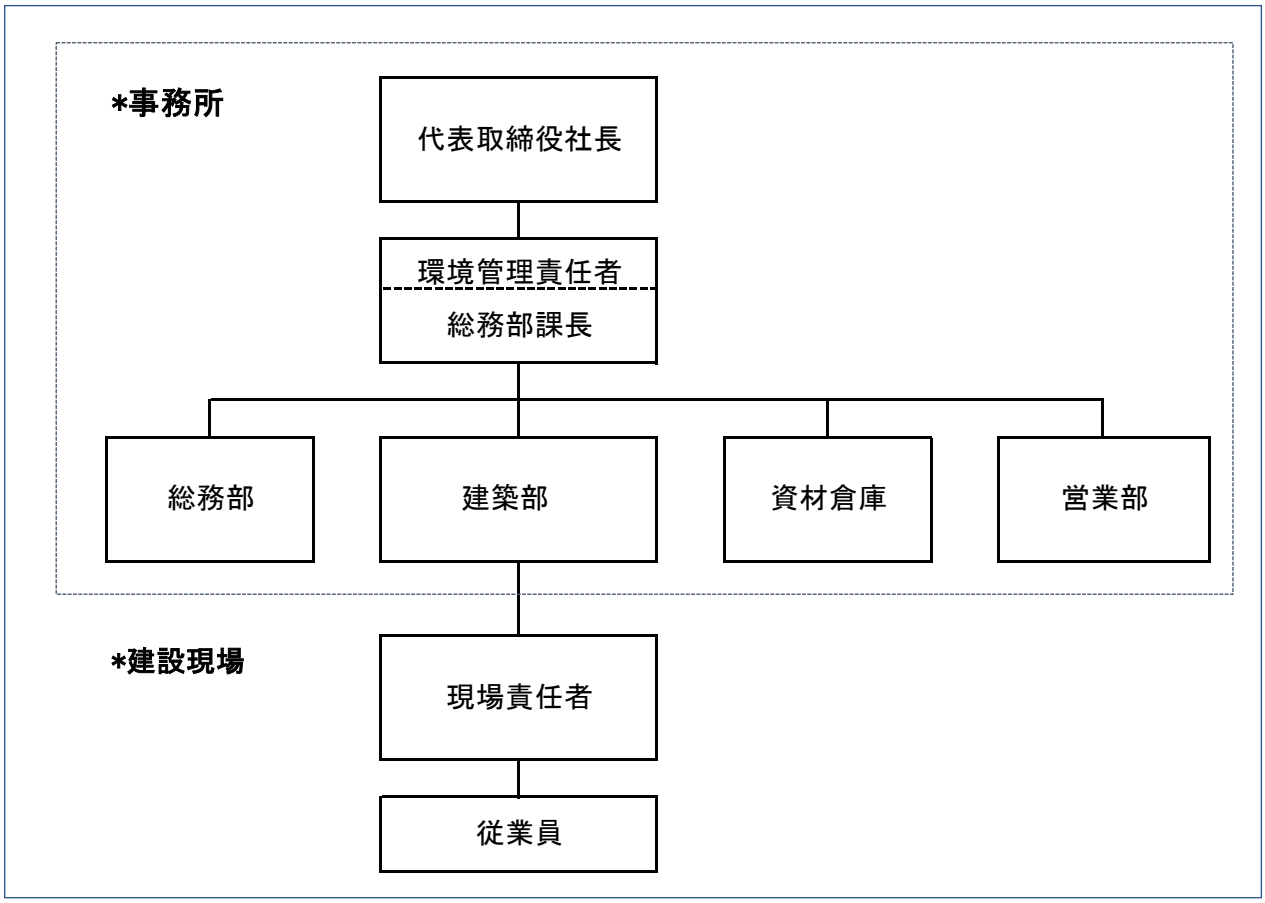
６．環境関連法規・条例・規則を遵守します。

７．本方針を全従業員に周知し、継続的な改善に努めます。

制定日： 2013年7月1日
改訂日： 2020年8月7日

代表取締役社長
浜　圭司

【３.実施体制】



		役割・責任・権限
代表取締役		・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実地に必要な、人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・全従業員に対する教育・訓練の実施 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートを確認し、承認 ・環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者		・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境経営目標、環境経営計画書を作成 ・環境活動の取り組み結果を代表者に報告 ・環境経営レポートの作成
部門長	総務部	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営目標の実績集計
	営業部	・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
	工事部	・自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員		・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

4.環境経営目標

【中・長期目的・目標】

○全体

目的	単位	目　標			
		基準年（2021年）	2022年度（基準年比-1%）	2023年度（基準年比-2%）	2024年度（基準年比-3%）
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	151,357	149,843	148,330	146,816
電気使用量の削減	kWh	96,806	95,838	94,870	93,902
ガソリン使用量の削減	L	45,098	44,647	44,196	43,745
軽油・灯油使用量の削減	L	72	71	70	69
一般廃棄物排出量の削減	kg	490	485	480	475
産業廃棄物の再資源化率	%	82	82	82	82
水使用量の削減	m3	712	705	698	691
組織本来の取組　＊3	件	18	19	20	21

○事務所

目的	単位	目　標			
		基準年（2021年）	2022年度（基準年比-1%）	2023年度（基準年比-2%）	2024年度（基準年比-3%）
電気使用量の削減	kWh	66,710	66,043	65,376	64,709
ガソリン使用量の削減	L	7,175	6,530	6,530	6,530
一般廃棄物排出量の削減	kg	490	485	480	475
水使用量の削減	m3	258	255	253	250

○現場

目的	単位	目　標			
		基準年（2021年）	2022年度（基準年比-1%）	2023年度（基準年比-2%）	2024年度（基準年比-3%）
電気使用量の削減	kWh	30,096	29,795	29,494	29,193
ガソリン使用量の削減	L	37,923	37,544	37,165	36,785
軽油・灯油使用量の削減	L	72	71	70	69
産業廃棄物の再資源化率	%	82	82	82	82
水使用量の削減	m3	454	449	445	440
組織本来の取組　＊3	件	18	19	20	21

※2021年度実績を基準として、工事数の増加を見込み電気使用量・ガソリンの基準を10%増とする。
　現場の水使用量の基準を10%増とする。
　そこより2024年までに3%環境負荷の低減を目指す。

＊1. 事務所の電力のＣＯ2 発生量については、
　　リコージャパン㈱の調整後排出係数0.441（kg－CO2／kWh）を使用した。
　　（リコージャパン㈱令和３年度発表に基づく）

＊2. 現場の電力のＣＯ2 発生量については、
　　四国電力の調整後排出係数0.569（kg－CO2／kWh）を使用した。
　　（四国電力令和３年度発表に基づく）

＊3. 組織本来の取組として、顧客に環境負荷の少ない省エネ設備の導入の提案を行う。

＊4. 化学物質の使用はありません。

5.環境経営計画

○事務所		目標	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	基準年比 −1%	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 （夏28℃冬20℃） ③休日、昼休み等の消灯の徹底	環境管理責任者
	燃料使用量の削減	基準年比 −1%	①タイヤの空気圧の点検 ②エコドライブの実践 ③エコカー購入の検討	環境管理責任者
廃棄物	一般廃棄物の削減	基準年比 −1%	①再利用用紙の積極的使用の周知を強化 ②整理整頓の周知・意識強化を推進 ③ゴミの分別の周知を強化	環境管理責任者
水使用量	節水	基準年比 −1%	①節水シールの貼付とポスター掲示	環境管理責任者

○現場		目標	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	基準年比 −1%	①不要な照明を消す ②休憩時、不在時の消灯の徹底	建築部長
	燃料使用量の削減	基準年比 −1%	①エコドライブの実践 ②定期的な保守点検の実施 ③エコカー購入の検討	建築部長
廃棄物	産業廃棄物の再資源化の維持	基準年比	①マニフェストの徹底管理 ②分別の意識強化を図る	建築部長
水使用量	節水	基準年比 −1%	①協力会社・下請会社への節水呼びかけ ②節水意識の維持強化	建築部長
組織本来の取組	省エネ住宅の提案	19件	①省エネ住宅の提案強化	建築部長

【6.環境経営目標の実績】

〇取組期間　2022年11月～2023年10月

評価日：2024年1月31日

〇全体

目的	単位	目標	実績	達成率	評価
		目　標			
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	149,843	103,257	145%	〇
電気使用量の削減	kWh	95,838	81,857	117%	〇
ガソリン使用量の削減	L	44,647	27,071	165%	〇
軽油・灯油使用量の削減	L	71	390	18%	×
一般廃棄物排出量の削減	kg	485	484	100%	〇
産業廃棄物の再資源化率の維持	%	82	91	110%	〇
水使用量の削減	m3	705	1,314	53%	×
組織本来の取組　＊3	件	19	19	100%	〇

〇事務所

目的	単位	目標	実績	達成率	評価
電気使用量の削減	kWh	66,043	55,729	118%	〇
ガソリン使用量の削減	L	6,530	6,243	104%	〇
一般廃棄物排出量の削減	kg	485	484	100%	〇
水使用量の削減	m3	255	282	90%	×

〇現場

目的	単位	目標	実績	達成率	評価
電気使用量の削減	kWh	29,795	26,128	114%	〇
ガソリン使用量の削減	L	37,544	20,828	180%	〇
軽油・灯油使用量の削減	L	71	390	18%	×
産業廃棄物の再資源化率の維持	%	82	91	110%	〇
水使用量の削減	m3	449	1032	44%	×
組織本来の取組　＊3	件	19	19	100%	〇

＊1. 事務所の電力のＣＯ2 発生量については、
リコージャパン㈱の調整後排出係数0.441（kg－CO2／kWh）を使用した。
（リコージャパン㈱令和３年度発表に基づく）

〇：達成
×：未達

＊2. 現場の電力のＣＯ2 発生量については、
四国電力の調整後排出係数0.569（kg－CO2／kWh）を使用した。
（四国電力令和３年度発表に基づく）

＊3. 組織本来の取組として、顧客に環境負荷の少ない省エネ設備の導入の提案を行う。

＊4. 化学物質の使用はありません。

〇コメント(事務所と現場を記述)

二酸化炭素の削減	2022年11月に事務所では空調機器（2005年型）を交換した。 現場では高所作業車を使ったり、ディーゼルトラックをリースした為、軽油の利用が増えた。
一般廃棄物排出量の削減・ 産業廃棄物の再資源化	事務所も現場も取り組みを維持でき達成できた。 産業廃棄物の再資源化の維持もできている。
水使用量の削減	事務所では3年ぶりに顧客と地域住民を招いて秋祭りが再開され、1月にはもちつき大会を開催し各200人程が来場し、用品の洗浄・衛生維持・管理のため削減は達成されなかった。受注工事においても大きな解体工事があったので、使用量が増え達成できなかった。
組織本来の取組	省エネ住宅の提案を行い達成できた。

【7.環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組内容】

○事務所

		目標	具体的実施項目	実施責任者	11月～2月	3月～6月	7月～10月	評価
二酸化炭素	電気使用量の削減	基準年比 −1%	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 （夏28℃冬20℃） ③休日、昼休み等の消灯の徹底	環境管理責任者	○	○	○	○
	燃料使用量の削減	基準年比 −1%	①タイヤの空気圧の点検 ②エコドライブの実践 ③エコカー購入の検討	環境管理責任者	○	○	○	○
廃棄物	一般廃棄物の削減	基準年比 −1%	①再利用用紙の積極的使用を周知 ②整理整頓の周知・意識強化を推進 ③ゴミの分別の周知を強化	環境管理責任者	○	○	△	△
水使用量	節水	基準年比 −1%	①節水シールの貼付とポスター掲示	環境管理責任者	○	○	○	○

○：計画通り実施
△：一部出来なかった
×：出来ていない

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント	次年度の取組
二酸化炭素	・省エネ型の空調機器に交換した。暑さが厳しい中、目標は達成できた。 ・エコドライブで運転できている。	・タイヤの交換時、エコタイヤを検討。
廃棄物	・カン、ビン、ペットボトルの分別リサイクルはできている。 ・整理整頓を個々へ直接注意できていない。	・複合機のオプションを利用して、印刷ミスを減らす。 ・社内文書は電子化する。
水使用量	・節水シールを見ることで、節水を意識できている。	・交換時は節水用トイレを推奨。

【7.環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組内容】

○現　場

		目標	具体的実施項目	実施責任者	11月～2月	3月～6月	7月～10月	評価
二酸化炭素	電気使用量の削減	基準年比 −1%	①不要な照明を消す ②休憩時、不在時の消灯の徹底	建築部長	○	○	○	○
	燃料使用量の削減	基準年比 −1%	①エコドライブの実践 ②定期的な保守点検の実施 ③エコカー購入の検討	建築部長	○	○	○	○
廃棄物	産業廃棄物の再資源化の維持	基準年比	①マニフェストの徹底管理 ②分別の意識強化を図る	建築部長	○	○	○	○
水使用量	節水	基準年比 −1%	①協力会社・下請会社への節水呼びかけ ②節水意識の維持強化	建築部長	○	○	△	△
組織本来の取組	省エネ設備の提案	19件	①省エネ住宅設備の提案強化	建築部長	○	○	○	○

○:計画通り実施
△:一部出来なかった
×:出来ていない

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント	次年度の取組
二酸化炭素	・現場事務所内の消灯は、各自責任をもってできている。	・日常の点検、エコドライブの強化。
廃棄物	・現場コンテナの分別はできてきた。 ・マニフェストの管理はできている。	・資材倉庫コンテナの分別強化。
水使用量	・大きな解体工事現場での散水、使用等やむを得ない。	・月1回の安全パトロール時に各現場で呼びかける。
組織本来の取組	・省エネシリーズを提案できている。	・年1回の安全大会で周知。

8.次年度の環境経営計画

○事務所		目標	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	基準年比 −2%	①不要な照明を消す ②適正温度の維持 （ｸｰﾙﾋﾞｽﾞ・ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞ） ③休日、昼休み等の消灯の徹底	環境管理責任者
	燃料使用量の削減	基準年比 −2%	①タイヤの空気圧の点検 ②エコドライブの実践 ③タイヤ交換時のエコタイヤ検討	環境管理責任者
廃棄物	一般廃棄物の削減	基準年比 −2%	①再利用用紙の積極的使用の周知を強化 ②整理整頓の周知・意識強化を推進 ③ゴミの分別の周知を強化	環境管理責任者
水使用量	節水	基準年比 −2%	①節水シールの貼付とポスター掲示	環境管理責任者

○現場		目標	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	基準年比 −2%	①不要な照明を消す(協力会社にも徹底) ②休憩時、不在時の消灯の徹底	建築部長
	燃料使用量の削減	基準年比 −2%	①エコドライブの実践 ②定期的な保守点検の実施 ③タイヤ交換時のエコタイヤ検討	建築部長
廃棄物	産業廃棄物の再資源化の維持	基準年比	①マニフェストの徹底管理 ②分別の意識強化を図る	建築部長
水使用量	節水	基準年比 −2%	①協力会社・下請会社への節水呼びかけ ②節水意識の維持強化	建築部長
組織本来の取組	省エネ住宅の提案	20件	①省エネ住宅の提案強化	建築部長

【9. 環境関連法規等の遵守状況の確認】

最新版確認日:2024年1月31日
遵守確認日　:2024年1月31日

適用法令等	適用内容	遵守事項	遵守評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	委託先の許可確認	遵守
	運搬・処分業者との委託契約	委託契約の締結・5年間保存	遵守
	マニフェストの交付と期間内処理の確認	マニフェスト管理・5年間保存	遵守
	県知事への年度報告	管理票交付等状況報告書提出	遵守
建設リサイクル法	一定規模の解体・建築・土木工事において、分別解体・再資源化・再生資源の使用の計画を行う(工事着手7日前まで届出)	届出書の提出、規制基準の遵守	遵守
建築基準法	石綿・クロルピリホス含有建材使用禁止	基準法28条の2記載のシックハウス対策の記述、基準の遵守	遵守
	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞに関する規制		
騒音規制法	知事(市町村長)へ7日前までに届け出	届出書の提出、規制基準の遵守	遵守
	作業敷地境界にて85デシベル以下		
振動規制法	知事(市町村長)へ7日前までに届け出	届出書の提出、規制基準の遵守	遵守
	作業敷地境界にて75デシベル以下		
家電リサイクル法	指定家電の適正な処理	適正処分・領収証	遵守
フロン排出抑制法	特定製品の修理・廃棄時の、適正回収・破壊措置義務	フロン回収登録業者への委託発注者に書面説明	遵守
	業務用エアコンの簡易点検(3か月に1回以上)	簡易点検記録作成	遵守
自動車リサイクル法	使用済み自動車の再資源化	再資源化等預託金の支払い	遵守
グリーン購入法	環境にやさしい事務用品等の購入	対象製品の購入	遵守
消防法	少量危険物の取扱い(ガソリン40L以下)	保管状況の確認	遵守
	事務所・倉庫 消防用設備等点検報告(3年毎)	報告の実施	遵守
香川県環境基本条例	事業者の責務(第5条) 事業活動を行うに当たっては、公害の防止その他の環境への負荷の低減又は自然環境の適正な保全の為に必要な措置を講じなければならない。	第5条の適切な実施	遵守
香川県生活環境の保全に関する条例	事業者の責務(第90条、92条、93条、96条、99条) エコ運転の励行。廃棄物の減少に努め資源の有効活用。電気の使用量削減。消費量が少ない電気機器等の使用及び効率的な使用。環境マネジメントプログラム展開体制の組織の設置。アイドリングストップ。	第90条、92条、93条、96条、99条の適切な実施	遵守
高松市環境基本条例	事業者の責務(第5条) 事業活動によって発生する廃棄物を適正に処理する	第5条の適切な実施	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

【10.代表者による全体評価と見直し・指示】

実施日：2024年1月31日

全体評価　　代表取締役社長　浜　圭司

今回の実績を振り返りますと、事務所と現場の水使用量が増加してしまいました。
事務所の増加原因はコロナ明けとなる3年ぶりに顧客や地域周辺の方200人程が来場した秋祭りやもちつき大会です。これからは行事等も増えてくるので、今一度節電・節水の意識を強化していく必要があります。
現場では大きな解体工事等があり、工事内容によっては現場での散水・使用等やむを得ない状況になりました。
そして軽油灯油使用量が思った以上に増加しているのは、現場での高所作業車輌やディーゼルトラックを利用したのが原因です。
それ以外は達成しているので、年々従業員にもEA21への取組の習慣化が浸透してきました。
コロナ明けでいろいろなことが緩和され始めましたが、環境への配慮や意識が低下しないように気を付けます。

見直しの有無

	有	無
・環境経営方針	☐	☑
・環境経営目標	☐	☑
・環境経営計画	☐	☑
・実施体制	☐	☑

今後の展開

ここ数年見舞われたコロナウイルスは令和5年5月に5類感染症に移行し、社会経済活動の活発化が見込まれます。
弊社もありがたいことに県外の顧客先が増えてきており、工事場所も四国内・中国地方と近県での建設工事を手掛けることで、ガソリンの使用量が増加し、ガソリン価格や建築資材の高騰も会社経営における影響が懸念されます。
その上、地球温暖化により夏の暑さも年々厳しくなってきてますので、現在行っている取り組みも改善し続けながら、全社員一丸となってEA21の取り組みの主旨と目的を理解し、行動する努力を続けていきます。